

## 編集後記 「ヨイトマケの唄」

表紙の大阪箕面・勝尾寺の「勝運ダルマ」は、「勝」の  
白い一文字が入って、紅白の色がひと際鮮やかです。



アヴニール労務事務所 所長柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail [avenir4you@gmail.com](mailto:avenir4you@gmail.com)



皆さんは、年末の紅白歌合戦はご覧になったでしょうか。

11月末に紅白歌合戦の出場歌手が発表になった時、選ばれた乃木坂46の一人が  
嬉しさのあまり号泣されていました。きっと七転び八起きで頑張った結果の出場なのでしょうね。

何年か前、その紅白歌合戦で美輪明宏さんの『ヨイトマケの唄』が話題になっていたことがあります。  
元々民放では放送禁止歌とされていた歌ですし放送しにくい長い歌なので僕自身あまり聴いたことは  
なかったのですが、大きな衝撃を受けるくらい感動しました。

歌は、貧乏な家で育った子供が、母ちゃんの仕事のことではじめられつつも母ちゃんの頑張る姿  
を見て立派に成長し、その母ちゃんが働きながら唄っていたことを思い出すという内容です。

ただカンドー!



「父ちゃんの為ならエンヤコラ。母ちゃんの為ならエンヤコラ。もひとつおまけにエンヤコラ。」

ちなみに「ヨイトマケ」とは、日雇いの土木作業員のことらしいです。

美輪さんの素晴らしい歌唱と相まって、母と子の深い情愛と働くことの崇高さを感じずにおれませんでした。

アベノミクスで進める「日本再興戦略」において、「働き過ぎ防止」が明記され、労働者の心身の健康確保、  
仕事と生活の調和、女性の活躍推進等の観点から「働き過ぎの規制」を進めています。

具体的に検討する労働政策審議会では、2015年の3月、一つの決議を行いました。

それが企業の年次有給休暇の強制取得制度です。年次有給休暇のうち5日については、会社が取得時期を定  
めるというもので、国会に法案を提出し、審議を経て労働基準法を改正する運びになっていました。

ところが、安全保障関連法案を巡る国会審議の混乱のため、結果的に労基法改正の審議に至りませんでした。

2016年に改めて国会に提出され、長時間労働の抑制を狙った他の法案と一緒に働き過ぎ防止のための  
労働規制改革を図るとみられています。

この法改正の背景の一つに、人口が減少するとともに労働力人口が減りゆく日本において、家庭に埋もれた  
女性を労働者として社会に引っ張り出すという命題があります。

それには特に子育てをされているお母さん方が働きやすい社会、職場が必要なのです。

女性が働きやすい職場は、男性も働きやすく、従業員満足度の高い職場になるといわれています。

どんなきれいな唄よりも  
どんなきれいな声よりも  
僕を励ましなぐさめた  
母ちゃんの唄こそ 世界一

父ちゃんのためなら エンヤコラ  
子どものためなら エンヤコラ



「ヨイトマケの唄」〔作詞〕丸山明宏より抜粋

「ヨイトマケの唄」は土木作業員の歌ではなく、育児と仕事を頑張っている、気高く尊い母親の歌です。

日本じゅうの働くお母さんを僕は心より尊敬します。

頑張るお母さん方をはじめ、皆様にとって新しい年がどうか佳い年になりますよう。

それから、僕が一番尊敬している頑張り屋の宮崎のお母さん。

帰省改革に失敗ス!  
なんちて。

お正月、帰省できなくてごめんなさい。m(\_)\_m

